

大府市長 岡村秀人殿

市民アンケートの報告と要求実現を求める要望書

2018年11月29日  
日本共産党大府市委員会  
委員長 棚瀬 英明  
市議会議員 久永 和枝  
政策委員長 長坂 好紀

日頃は9万2千人余の市民の命と暮らし、安心・安全な街づくりに対する努力にお礼申し上げます

日本共産党大府市委員会は、本年9月～10月末にかけ市民アンケートを実施しました。アンケートでは、安倍政権の下で暮らしや経済、平和、憲法、南海トラフへの対応、地球温暖化のもと異常気象が続く中での自然災害に対する対応策や、少子高齢化社会が続く中安心して暮らし続ける大府市への要望など様々な要求が寄せられました。

本日は大府市政への要望を主にお伝えし、新年度予算に充分考慮され実現の努力をお願い致します。

**1、国民健康保険税を当面一人1万円引き下げてください**

本年度より国保改革で県に納付金を納める事となり、18歳以下の均等割り減額など県下でも優れた内容もあったが、1所帯当たり約2万円の引き上げとなりました。全国知事会も国に1兆円を国保に投入しないと支払えない人が増え、制度の崩壊を危惧していますがその通りです。実現するまでその他繰り入れを増やし一人1万円の引き下げをしてください。

**2、ふれあいバスを4台増車して、買い物難民解消や免許証返上対策をしてください**

ふれあいバスが始まって17年になり、公共交通の減少や高齢化社会の進む中ますます重要な市民の足となってきました。この間数度にわたる改善をしていただきましたが高齢化がバスの必要性をますます深めております。思い切って4台の増車と運行コースの見直し、停留所までのタクシー助成、昼の休憩時間でも運行する手立てなどをとり、文字どおり市民の足となるよう改善してください。

**3、道路修繕・改良について要望解決にスピードをもって取り組んでください**

市民の皆さんが道路修繕や改良など身近に生活できる目に見える仕事も要望が多い状況です。道路排水溝は優先順位を決め取り込んでもスピードが遅いし、自転車と車道の併用でも数多くの改善必要箇所があります。通学路の整備も県道がネックの所もあり目に見える形の改善は努力の割りに時間がかかります。年次目標をわかりやすく示し市民の理解を得てください。

**4、ごみ袋の値上げはやめてください**

東部知多クリンセンターの建て替えにともない、「ごみの量を減らすためごみ袋の有料化」が問題となっています。東浦町では1袋10円が45円になりました。大府市については現状のごみ袋料金を継続してください。袋の料金を上げてごみは減りません。しかもクリンセンター建設経費は税金で賄うのが当然です。税金の二重払いにならないようにしてください。

## 5、JR 新駅建設はこの際きっぱりとやめてください

新駅計画の取り組みが始まり 23 年が過ぎました。「何故必要なのか」も説明せず説得力がない事から中止してください。

今回のアンケートの中でも「新駅建設はやめてください」の声が多く寄せられました。過去の市長が建設を決めました、可能性はきわめて難しい状況です。市長が変わり決断の時期ではないでしょうか。新駅計画は中止してください。

## 6、国民年金で入所できる特養ホームを建設してください

介護保険法が変わり、要介護 3 以上でないと特養ホームに入れず、多くの施設は個室が殆どで料金が高い。愛厚ホームのような多人床でないと利用料が払えない人が増えております。大府市が建設して運営は民間でもよいが、事業計画にいらしてください。

## 7、後期高齢者保険料が高い。軽減してください

国民健康保険税は大きく問題化していますが、後期高齢者保険料はあまり話題にはなっていない。しかし、保険料は高い状況です。支援金制度で全世帯の応援を経ているますが公的負担を増やしてください。

## 8、こどもの給食費無料化を進めてください

教育は無料が原則と言われて久しいが、給食費無料化を検討や実施するところが増えてきました。子育てにかかる費用も最近が増えており、給食費の滞納は減っているとはいえ親の負担を減らしての声が寄せられています。無料化実施をしてください。

## 9、子ども医療費 18 歳までの拡大をしてください

中学校までの医療費無料化は全県でも早く取り組んだ大府市で政策効果はあったと思います。若い世代が大府に住み着く割合も高くなっていますが、18 歳以下まで無料化を広げさらに若者が住みよい政策で大府の活力を広げてください。

## 10、民間保育園が多く建設されていますが、質の向上も公立並みに引き上げてください

希望する保育園に入所できない実態が長く続いてきました。31 年度・32 年度は民間保育園の建設が計画されています。保護者の声が寄せられているのは公立保育園の整備などがありますが、安心して預けたいとの思いが強いと考えられます。整備された以上は運営に当たり質の高い保育を民間にも指導し、財源措置も講じてください。

## 11、県下で市 3 番目に高い水道料金を引き下げてください

市民の声の中で、公的負担の値上げがありますが、その一つが水道料金でした。県下の市で一般家庭の利用が多い 20 mm で、大府市は弥富・愛西の海部企業団、北名古屋市について 3 番目に高い市となりました。過去に 2 回の値上げが響いています。県企業庁の黒字状態を供給単価引き下げ求めるとともに大府市としても値下げを図ってください。

## 12、知的障がい者の就労・生活の場確保を市の責任で進めてください

本年 4 月から特別支援学校が大府市に開校して、関係者から近くなり本人達にも通学の負担が少し減り喜んでおられます。しかし、高等部を卒業すると働く場や居場所が不安になります。あけび園や関係者の努力でこれまで何とか暮らしてきましたが、自立支援法が施行され、福祉法人の経営も厳しくなり卒業生を受け入れる事が厳しくなっています。大府市内でも大府センターの閉鎖や、A 型事業所の撤退などで環境変化は大変です。自立支援協議会が将来予測を立て計画づくりや財源確保を大府市の責任で進めてください。

### 13、南海トラフ対策・異常気象豪雨対策に大府市の責任をさらに高めてください

南海トラフ地震への備えは、各家庭でまだ備蓄など充分ではないようです。一定時期には更新を考えると、所得の低い所帯には行政の現物支給など支援が必要です。

災害はなくせないが被害を少なくする事が可能であり、行政の指導や地域の連携は不可欠です。日常の生活の中で自治会活動への加入促進や活動を市民との共同で進めてください。

豪雨対策については、低地で災害経験のある地域対策中心に万全な対策をしてください。